

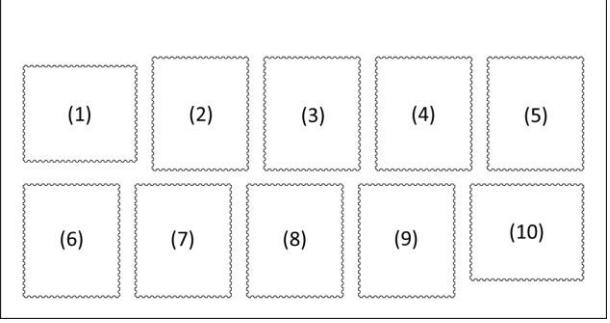
2024年11月20日  
日本郵便株式会社

## 特殊切手「自然の記録シリーズ 第5集」の発行

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 千田 哲也）は、科学的な観点で自然由来のものが描かれた写生画などを題材とした、特殊切手「自然の記録シリーズ 第5集」を発行します。

第5集は、水生生物の図譜を取り上げます。

## 1 発行する郵便切手の内容

名 称	自然の記録シリーズ 第5集	
発 行 日	2025年1月22日(水) <small>(注1)</small>	
種 類	110円郵便切手(シール式)	
切 手 画 像	別紙のとおり	
シ 一 ト 構成・意匠		(1) 鯛 (2) 小鷹羽 (3) 鮎 (4) カザミ (5) ハンド海月 (6) うきよ (7) 志まはぎ (8) 上: 札名なし 下: 札名なし (9) ランチウ (10) 蓑笠子 余白: ハマチ
売 価	1,100円 <u>(シート単位で販売します。)</u>	
小 切 寸 法	(1)、(10) 縦25.5mm × 横30.0mm (2)～(9) 縦30.0mm × 横25.5mm	
印 面 寸 法	(1)、(10) 縦22.5mm × 横27.0mm (2)～(9) 縦27.0mm × 横22.5mm	
シ ー ト 寸 法	縦86.0mm × 横160.0mm	
所 藏 元	高松松平家歴史資料 香川県立ミュージアム保管	
助 言・監 修	五十嵐 公一	
切手デザイン	星山 理佳(切手デザイナー)	
版 式 刷 色	オフセット6色	
発 行 枚 数	2,000万枚(200万シート)	
販 売 場 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の郵便局など <small>(注2)</small></li> <li>・郵便局のネットショップ内「切手・はがきストア」 <small>(注3)</small></li> <li>・銀座郵便局での通常払込みによる通信販売</li> </ul>	

## 2 発行する郵便切手のデザインについて

### 〈「衆鱗図」について〉

衆鱗図は、高松藩5代藩主 松平 賴恭（1711～1771）の命により編纂された水生生物の図譜です。折本状に仕立てた台紙の表裏に、水生生物を描いた723図が4帖に分けて貼られています。その見所は驚くほど精密な描写です。胡粉を用いて体表の立体感を出す工夫をし、絵具の他に金箔、銀箔、漆などを使って光沢までも表現しています。また、水生生物の図を描いたのち、輪郭線に沿って緻密に切り抜いて台紙に貼り付けるという表現方法も、衆鱗図の大きな特徴です。作者は特定されていませんが、複数の絵師によって描かれたとみられています。

### 〈切手の意匠名について〉

#### (1) 鯛

衆鱗図にはオスとメスのマダイが収録されていますが、このマダイはオスです。付札にも「鯛 牡」とあります。マダイのオスはメスに比べると、黒いのが特徴です。このマダイも顔の部分が黒く描かれています。

#### (2) 小鷹羽

付札に「小鷹羽」とありますが、これはハタタテダイです。長く伸びた背びれ、白地の体に大きく太い2本の黒色帯があるのが特徴です。背びれの後半と胸びれ、尾びれは黄色です。観賞魚として人気のある魚です。

#### (3) 鱸

付札に「鱈」とあります。これはマダコ（真蛸）です。日本で「タコ」といえば、この真蛸を指すようです。吸盤をさまざまな角度から描いていて、図譜としての性格がよく出ている図だといえます。

#### (4) カザミ

付札に「カザミ」とありますが、ガザミです。ワタリガニとも呼ばれます。大型の食用ガニですが、最近は漁獲量が減少しています。体に白い水玉模様があるのが特徴です。泳ぐのに適した遊泳脚が描かれています。

#### (5) ハンド海月

付札に「ハンド海月」とありますが、これは食用のビゼンクラゲです。備前が名産地だったことから、このように呼ばれるようになったようです。傘の内側や口腕、口腕付属器などが分かるような視点で描かれています。

#### (6) うきゝ

付札に「うきゝ（浮木）」とありますが、マンボウのことです。日本ではウオノタユウなど、さまざまな名前で呼ばれてきました。側面から見ると円盤形、正面から見ると紡錘形をしています。後方にあるひれは尾びれではなく背びれと尾びれの一部が変形した舵びれです。

#### (7) 志まはぎ

付札に「志まはぎ」とありますが、これはキンチャクダイの成魚です。幼魚と成魚で体の色が変わります。鑑賞魚として飼育されています。

#### (8) 上：札名なし 下：札名なし

付札に文字が記されていませんが、上に小さく描かれているのはモヨウフグで、下に描かれているのはハリセンボンです。ハリセンボンはフグの仲間です。このモヨウフグは幼魚のようです。

(9) ランチウ

付札に「ランチウ ムヒレ」とあります。キンギョの一品種、ランチュウです。背びれがないのが特徴です。江戸時代から人気のあるキンギョであり、品評会も開かれていました。現在でも盛んに品評会が開かれています。

(10) みのかさご 蓑笠子

付札に「蓑笠子」とあります。ミノカサゴです。ひれが蓑のように見えることから、この名があります。ひれの棘には毒があり、刺されると激痛を伴い、患部は腫れ、めまいを起こすこともあります。ひれを大きく広げた姿で描かれています。

余白：ハマチ

シート左上の余白に配したのはハマチです。衆鱗図では、この図に「ハマチ」と書かれた付札があります。ハマチは成長するごとに何度も名前が変わる出世魚であり、大きくなるとブリと呼ばれます。縁起の良い魚と言われています。

3 その他

通信販売などの販売概要、郵趣のための記念押印サービスについては、弊社 Web サイトでお知らせします。

【注釈】

(注 1) 切手の販売は、発行日の午前 9 時からとなります。

(注 2) 一部の郵便局においては、お取り寄せとなる場合があります。

売り切れる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

(注 3) 郵便局のネットショップ内「切手・はがきストア」への掲載は、2025 年 1 月 22 日（水）の予定です。

以上

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社

お客様サービス相談センター

＜電話番号＞

0120-23-28-86（フリーダイヤル）

携帯電話からご利用のお客さま

0570-046-666（通話料はお客様負担です）

＜ご案内時間＞

全日 8:00～21:00

ガイダンスが流れますので、「\*」のあとに

「1」を選択してください。

おかげ間違いのないようにご注意ください。